

# 北九州エアターミナル株式会社

## I 法人の概要（令和4年4月1日現在）

### 1 所在地

北九州市小倉南区空港北町6番

### 2 設立年月日

平成元年5月1日

### 3 代表者

代表取締役社長 鮎川 典明(令和4年6月27日就任)

### 4 資本金

3,955,984千円

### 5 北九州市の出資金

1,215,992千円（出資の割合30.74%）

### 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13人	0人	1人	12人
常 勤	4人	0人	1人	3人
非常勤	9人	0人	0人	9人
社 員	16人	0人	2人	14人

### 7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取組を進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

## II 令和3年度事業実績

### 1 航空旅客

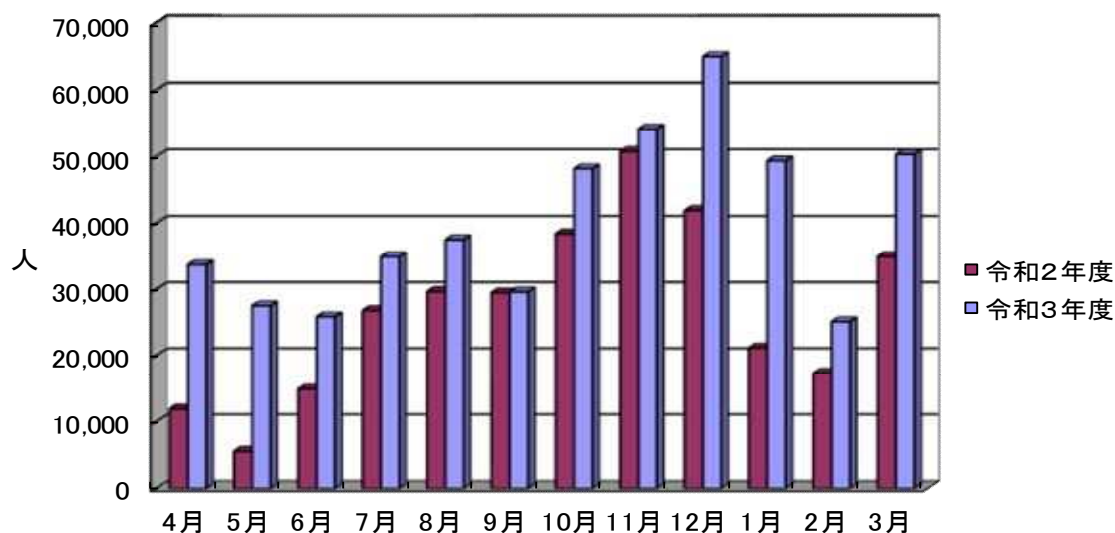
今期の日本経済は、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、引き続き厳しい状況が続いたが、ワクチン接種が進み、景気回復への期待も出てきているところである。また、世界的には原油価格の高騰や緊迫するウクライナ情勢等の地政学的リスクもあり、先行きは不透明な状況である。

航空業界においては、国内線旅客は徐々に回復基調で推移したが、国際線旅客は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた。航空貨物輸送は、世界的な貨物需要の高まりや海上輸送の混雑等による航空へのシフト等から、国際貨物を中心に好調に推移した。

このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約476千人（前期比149.5%）となった。沖縄（那覇）線は6月を除く上半期のみの運航で、年間旅客数は約5千人（前期比137.2%）となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約482千人（前期比149.0%）で、約158千人の増となった。コロナ禍前の令和元年度に比べると35.5%の水準であった。

国際線は、前期に引き続き、年間を通じて、全て運休となった。

【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



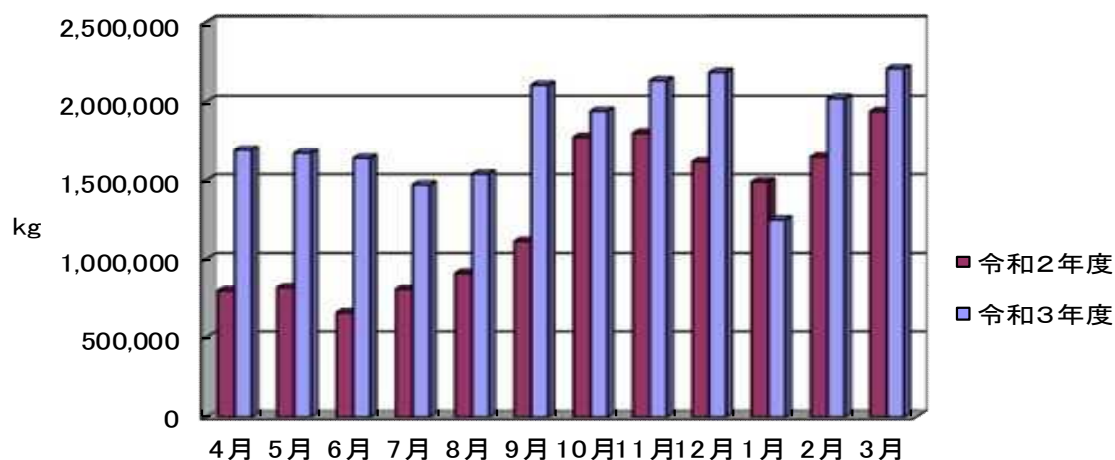
## 2 航空貨物

航空業界においては、航空貨物輸送は、世界的な貨物需要の高まりや海上輸送の混雑等による航空等による航空へのシフト等から、国際貨物を中心に好調に推移した。国内航空貨物は、運航便数が前期より回復したことを受け、年間取扱量は約2千2百トン(前期比131.3%)となった。

国際航空貨物は、大韓航空の定期路線が11月からは週4往復に増便され、チャーター便と合わせた年間取扱量は、約1万9千7百トン(前期比143.5%)となった。

国内・国際航空貨物の年間総取扱量は、2期連続で過去最高となった。

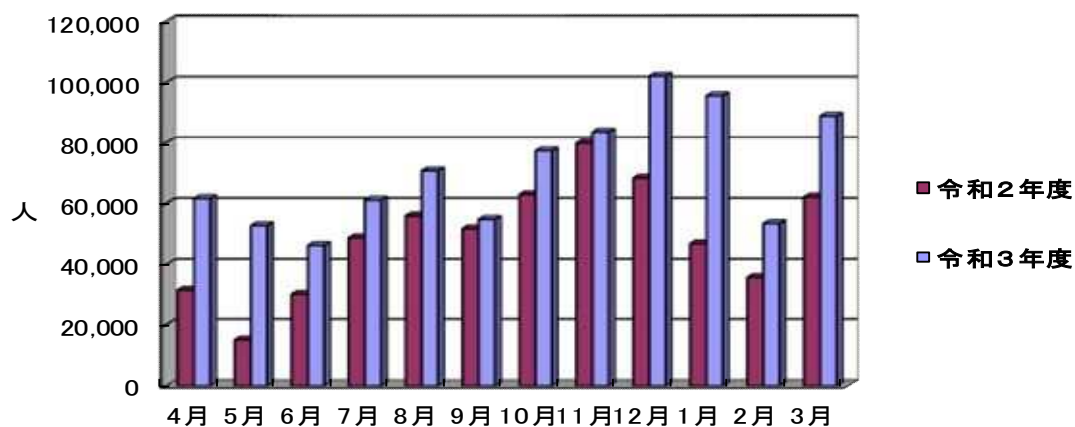
【国内・国際線貨物取扱量(合計)の推移】



## 3 旅客ターミナルビル来館者

年間のターミナルビル来館者は約849千人(前期比144.2%)となった。

【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
4月	福智町上野焼PR展示 北海道物産展（※ 中止）
5月	グリーンパーク 春のバラフェア展示
6月	幼稚園児による七夕飾り（※ 中止） 苅田町PR展示 門司港レトロ「関門夜景めぐり」パネル展示
7月	北九州空港の滑走路延長に関するパネル展
8月	到津の森公園 動物写真パネル展
9月	京築神楽PR展示（※ 中止） 漫画ミュージアム展示 北九州空港まつり（※ 中止）
10月	福智町上野焼PR展示 JR九州ウォーキングイベント 竹灯籠展示 「山本作兵衛」世界遺産登録10周年PR展示 北九州空港菊花展
11月	池坊華空会 初冬の花展 九電 地球温暖化についてのパネル展示 韓国PRラック
12月	クリスマスイルミネーション点灯式（※ 中止） クリスマスイルミネーション（※ 中止） 親子で空港見学ツアー 田川市美術館黒田征太郎展PR展示
1月	ぜんざい振る舞い（※ 中止）
2月	ふぐ雑炊振る舞い（※ 中止） 京築神楽PR展示（※ 中止）
3月	16周年感謝祭
その他	豊前街道新鮮市

#### 4 テナント売上増に向けた取り組み

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内外の旅客需要の減少を受け、テナント売上への影響が大きい中、テナントへの支援を実施した。

また、テナント店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

#### 5 施設整備等

令和3年度から新規事業として開始した駐車場事業について、駐車場設備一式の整備を実施した。また、増大する国際貨物取扱量に対応するため、国際貨物上屋増設工事を開始した。

その他、空港関係者用保安検査場検査機器の更新を実施した。

#### 6 経営状況

当社の経営については、令和3年度から新規事業として開始した駐車場事業による駐車場収入の純増、空港利用者数の増加に伴う設備使用料収入の増加、直営ラウンジの通期営業による売上高の増加等により、当期売上高は約720百万円で、コロナ禍で大きな影響を受けた前期と比較し、約225百万円の増収となった。

売上原価、販売費及び一般管理費は、駐車場事業開始に伴う土地使用料増加の一方で、管理委託費等の見直しや経費削減、入居者への減免幅の見直しを実施するとともに、償却済み資産に係る減価償却費の減少等の結果、約814百万円で、前期と比較し約12百万円の増加となった。また、営業外収益は約31百万円、営業外費用は約1百万円となった。

以上の結果、税引前当期純損失は約63百万円で、当期純損失は約64百万円となり、前期と比較し改善した。

### Ⅲ 令和3年度決算

#### 1 貸借対照表

令和4年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>1,103,082,393</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>236,061,559</b>
現金・預金	1,049,186,481	買掛金	363,122
未収入金	45,150,527	未払金	61,557,629
商品	519,773	一年以内返済長期借入金	59,976,000
貯蔵品	1,417,645	リース債務	918,244
前払費用	6,807,967	未払費用	2,201,800
		未払法人税等	12,329,300
		未払消費税等	27,215,400
		前受金	26,318,327
		預り金	870,257
		預り保証金	5,625,480
<b>【固定資産】</b>	<b>3,670,889,829</b>	賞与引当金	3,686,000
（有形固定資産）	3,465,001,145	預り建設協力金	35,000,000
建物	3,302,606,406	<b>【固定負債】</b>	<b>222,695,998</b>
構築物	38,406,826	長期借入金	35,106,000
工具器具備品	87,716,157	預り敷金	28,001,400
機械装置	7	預り保証金	17,328,640
車両運搬具	19,158,341	長期リース債務	84,060
リース資産	866,408	退職給付引当金	18,281,000
建設仮勘定	16,247,000	資産除去債務	123,894,898
		<b>負債合計</b>	<b>458,757,557</b>
（無形固定資産）	124,984	純 資 産 の 部	
電話加入権	124,984	<b>【株主資本】</b>	<b>4,420,120,665</b>
		資本金	3,955,984,000
		利益剰余金	464,136,665
		その他利益剰余金	464,136,665
（投資その他の資産）	205,763,700	繰越利益剰余金	464,136,665
投資有価証券	205,463,700	<b>【評価・換算差額等】</b>	<b>▲104,906,000</b>
出資金	300,000	その他有価証券評価差額金	▲104,906,000
		<b>純資産合計</b>	<b>4,315,214,665</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,773,972,222</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>4,773,972,222</b>

## 2 損益計算書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 売上高</b>		720,376,196
売上高	19,385,340	
家賃収入	210,598,051	
管理費収入	168,284,207	
設備使用料収入	174,548,839	
広告料収入	38,488,501	
駐車場収入	109,071,258	
<b>II 売上原価</b>		4,468,282
<b>売上総利益金額</b>		715,907,914
<b>III 販売費及び一般管理費</b>		809,442,756
<b>営業損失金額</b>		93,534,842
<b>IV 営業外収益</b>		31,275,120
受取利息	8,478	
受取配当金	9,000	
雑収入	31,257,642	
<b>V 営業外費用</b>		1,117,215
支払利息	1,117,215	
<b>経常損失金額</b>		63,376,937
<b>VI 特別利益</b>		1,603,576
補助金	1,603,576	
<b>VII 特別損失</b>		1,523,702
建物圧縮損	1,523,702	
<b>税引前当期純損失金額</b>		63,297,063
<b>法人税、住民税及び事業税</b>		1,062,129
<b>当期純損失金額</b>		64,359,192

## IV 令和4年度事業計画

### <基本的な考え>

#### 1 航空旅客

国内線の旅客需要は、新型コロナウイルス感染症の影響から徐々に回復しつつあることから、就航航空会社や行政及び団体と連携をとり、PRやキャンペーンを実施する等の集客対策を進める他、ペット同伴にかかる施設改善等の対応を行う。

国際線は、路線再開時を見据え、政府の方針や出入国条件等を注視し、路線再開時に遅滞なく対応できるよう準備を進める。

ビジネス需要については、オンライン化が進むなど全面的な回復が危惧されるため、今後の動向に注力していく。

#### 2 航空貨物

拡大する国際貨物取扱量に対応するため、地元自治体と連携し建設中の、国際貨物上屋の増設を確実に実施し、運営のあり方についても引き続き検討を進める。

国際航空貨物定期路線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、大型地上支援機材の更新を行う。

滑走路3千メートルへの延伸について、地元自治体と連携し、早期実現に向けて国への要望活動を行っていく。

#### 3 ターミナルビル来館者

来館者に安全に、安心して当空港ターミナルビルを利用していただくため、引き続き、館内における消毒液の設置、利用者及び勤務者へポスター掲示等による手洗いやマスク着用をはじめとする咳エチケット等の感染対策の要請、ロビーチェアの間隔の確保、手すり・エレベータのボタン等の消毒等を実施し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。

北九州空港に親しんでいただくとともに、旅客増につながるよう密集回避・感染対策を徹底した上で、各種イベントを再開する。

#### 4 入居事業者への対応

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により入居事業者は非常に厳しい経営環境にあるため、引き続き支援を実施する。

旅客サービス維持を図るため、休業店舗の再開や退店が見込まれるテナントの誘致、利用促進に向けた対策を実施する。



## 5 企業リスク対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、事業継続の観点から、新型コロナウイルス感染症拡大時には、テレワークや事務室の分散を実施する。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスクや消毒アルコール等の備蓄を行う。

特定天井等の改修の具体的検討を進める。

## 6 コスト削減と収益増対策

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい経営環境であるため、設備投資は必要最小限のものに絞って実施するとともに、更なる経費削減に努める。

広告等収益増に繋がる取り組みについて更に強化していく。

## 7 駐車場事業

駐車場事業については、空港ビルと駐車場の一体運営により、利用者の利便性向上及び経営の効率化を図り、空港全体の利用者増と会社の収支向上に繋げる。

繁忙期には、警備員を配置するとともに、満車対策として臨時駐車場を開放し、利用者の安全・安心と利便性向上を図る。

## V 令和4年度予算

### 収支予算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	25,000
		家賃収入	247,000
		管理費収入	175,000
		設備使用料収入	197,000
		広告料収入	40,000
		駐車場収入	144,000
	小 計	828,000	
	営業外収入	雑収入等	25,000
		小 計	25,000
	合 計		853,000
支 出	営業費用	売上原価	6,000
		人件費	117,000
		減価償却費	260,000
		修繕費	60,000
		水道光熱費	70,000
		租税公課	61,000
		地代	91,000
		管理委託費	169,000
		一般管理費	48,000
	小 計	882,000	
	営業外費用	支払利息	1,000
		小 計	1,000
合 計		883,000	
収 入 - 支 出		▲30,000	

## VI 役員名簿

令和4年7月1日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	鮎川典明	
代表取締役専務	武濤研二郎	
常務取締役	大脇正人	
取締役	東俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
〃	安田堅太郎	西日本鉄道株式会社 執行役員 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	砂川浩	TOTO株式会社 総務本部長 兼 安全衛生統括室長
〃	鶴岡直樹	株式会社ゼンリン 社長室 参与 九州担当
〃	平尾智賀志	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室事業管理部 マネージャー
〃	城野和幸	苅田町 副町長
〃	宮崎幸雄	九州電力株式会社 執行役員 北九州支店長
常勤監査役	長谷川英祐	
監査役	米谷友宏	行橋市 総務部長
〃	井倉眞	福岡ひびき信用金庫 理事長

